# 法人化でスタート

## 足寄町の社協

足寄町社会福祉協議会では、昨年十二月三日付で厚生省から社会福祉法人としての認可（道内十八カ所のうち二番目に）となりましたが、年度途中で活動中でもあり、五十二年度の決算をおえて、四月十三日午後一時すぎから老人いこいの家で総会をひらきました。

総会は評議員三十名のうち出席者十五名、委任状提出十名によって成立、三宅隆義会長のあいさつ、富田町助役の祝辞があって、議長に斉藤祐一氏を推して議事に入りました。

はじめに議事録署名者に新津幸助、高本修司の両氏をおえて、四月十三日午後の理事会で総会をひらきました。

二年度の事業経過報告、一般会計、特別会計決算の認定についてはそれぞれ原案どおりに決定しました。

つぎに五十三年度の事業計画として

一、組織活動の強化充実
二、低所得者福祉対策
三、ボランテイア活動の推進
四、児童福祉活動の推進
五、母子福祉活動の推進
六、老人福祉活動の推進
七、調査広報活動の推進

などをあげ、このために一般会計で七百五十一万一千円、心配ごと相談所特別会計で十七万七千円の収支予算案を審議して原案どおりに議決しました。

ついで役員改選にうつり選考委員に鳴海一郎、新津幸助、山田とよ、南田宣春、池田英太郎の五氏を推して選考にあたり、監査報告のなかで『法人化されたのでこれまでの役員は長く他に役職を多くもつ方や老令化しているのでマンネリ化しており、評議員なり会員のなかから活動力のある方を選んでほしい』との意見もありましたが、鳴海選考委員長の報告では逆に法人化のスタートなのだから全員の留任が望ましいとして、つぎの各氏を再選して午後三時近くに閉会しました。

△理事　三宅隆義　大塚正夫　神本三家雄　武藤吉次　香川博彦　長田栄　阿部俊夫　品川サワイ　篠原秀治　加藤マツ　両角草　山岡孝雄　木村春三

△監事　森哲道　松山明

# 千春をめぐつて

## 電波に足寄が登場

四月四日午前七時四十分からのNHKラジオ朝のロークリ!!で、宮川泰夫アナウンサーによつてつぎのように放送されました。

十勝に住まいの方であれば松山千春というフォークシンガー、もしくはその曲をきいたことがあろうと思います、いまや人気絶頂のシンガーソングライター、けさは松山千春の周辺をレポートしてみたいと思います

（ここで「旅立ち」の曲が流れ出すなかで―）

「どこがいいかっていうとファンとしてジーンと痛くなるんです、なんというか歌ってくれる心情が心からの心に伝わつて自分が酔つているのではなくて他人を酔わせるつて感じの曲です」

「私が一番いいのはやつぱり歌というのか声というのかほかのフォーク歌手と違う感じがするんです」

「突っ張っているところもあるがそれなりに個性があつていいし、変な突っ張りをしてないし、ポーイスが気に入れられればいいんではないか、好きなようにやれといつています」

つい一年前までは、十勝の片すみに生きるごくふつうの一青年が、いまやまともに街を歩けないほどの人気になつてしまいました、彼のいまヒット中の曲は「時のいたずら」であり、題名ですが、まさにそうした意味では時のいたずらというものをもつとも強く感じているのは松山千春本人かもしれません、ともあれ移へいつて密着取材ということで…後はどみて頂きます

が、二時ワイドショーにも千春さんをヒ出して下さいという手紙が沢山きてビツクリしてるんですが、その知数なところがあります

大沢アナ　笹原君は足寄のなかで一人暮らしをしているのは松山千春本人かもしれません、ともあれ移へいつて密着取材ということで…後はどみて頂きます

が、二時ワイドショーにも千春さんをヒ出して下さいという手紙が沢山きてビツクリしてるんですが、その知数なところがあります

笹原アナ　千春の身長や体重や好きな色とかいろいろなファン向けの新聞をつくりはじめました、いまや地元十勝から九州の果てまでファンに送られています、お父さんにその動機などを伺つてみました

「はじめは千春はファンレターに一生懸命に返事を書きたい明さんは千春君のことをどう思つているのか、その辺のことをきいてみました、お父さんは千春君の歌はどう思いますかすね、音楽学校へいつたわけでもないし、不思議なんですよ」

なぜこうもスゴイ人気があるのかということですね

「まあ、うちにいてシャベることと同じようにシャベつていて日常茶飯事を気どらないでしろうと臭いというか、歌手とか芸能人らしくないところか、私も新聞記者らしくない新聞記者でやつてきたので、お前も丟能人という気持でなく一人の男としし青年として向うは お友達としてお前のいきたが気に入れられればいいんではないか、好きなようにやれといつています」

つい一年前までは、十勝の片すみに生きるごくふつうの一青年が、いまやまともに街を歩けないほどの人気になつてしまいました、彼のいまヒット中の曲は「時のいたずら」であり、題名ですが、まさにそうした意味では時のいたずらというものをもつとも強く感じているのは松山千春本人かもしれません、ともあれ移へいつて密着取材ということで…後はどみて頂きます

が、二時ワイドショーにも千春さんをヒ出して下さいという手紙が沢山きてビツクリしてるんですが、その知数なところがあります

大沢アナ　笹原君は足寄のなかで一人暮らしをしているのは松山千春本人かもしれません、ともあれ移へいつて密着取材ということで…後はどみて頂きます

笹原アナ　千春君のところだから足寄のキツプをくれとか

足寄駅長　そういうことですね、大体お出になる方は夜行列車に乗つて朝つくわけですが、駅へつきましたら千春君の家はどこだと尋ねてくるわけですが、町内の地図を出して一応ここだと教えてあげるわけです、朝参りまして夕方まで千春君の家へお邪魔しているらしいんで、また夜行列車で帰るというお客さんがふえています

つづいて帰宅途中の列車のなかでサインを求められて活躍してほしいと思いる千春の姿をとらえてから

「哭っ張っているところもあるがそれなりに個性があつていいし、変な突っ張りをしてないし、ポーイスがフアンとしてジーンと痛くなるんです、なんというか歌ってくれる心情が心からの心に伝わつて自分が酔つているのではなくて他人を酔わせるつて感じの曲です」

「私が一番いいのはやつぱり歌というのか声というのかほかのフォーク歌手と違う感じがするんです」

「突っ張っているところもあるがそれなりに個性があつていいし、変な突っ張り

「どこがいいかっていうとファ